

地域安全事業実施(完了)報告書

助成受給団体	紫波地区地域安全推進協議会
事業の名称	復興支援フォーラムpart2開催事業
実施期間	平成24年8月1日～平成25年1月31日
事業内容 復興支援フォーラムPart II ～輝け岩手！ みんなでつくろう安心の街 ①フォーラムの内容 会場：都南文化会館キャラホール 参加者：発表中学生他3団体6名、高校生スタッフ5名、大人スタッフ他26名 受賞者3団体24名、被災地吹奏楽部3団体86名 入場者 約300名 (1)地域安全マップ表彰 3団体 (2)シンポジウム コーディネーター 神山 浩樹(IBCアナウンサー) パネリスト 山田中学校生徒 高田第一中学校生徒 大槌中学校生徒 被災地支援ボランティア団体 3名 (3)復興ライブ 山田町 山田町立山田中学校吹奏楽部出演 陸前高田市 陸前高田市立高田第一中学校吹奏楽部出演 釜石市 大槌町立大槌中学校吹奏楽部出演 ②地域安全マップコンクールの実施 4小学校から9枚のマップの応募があった。 全国地域安全運動の期間中、大型量販店に掲示し一般投票をした。 関係機関などの審査で3点のマップが選ばれた。	
成果 ①被災した地域の3中学校の吹奏楽部を招致することにより、みんなで一つの目標に向かって切磋琢磨する機会となった。 また、フォーラムにおいて多くの方々の心が一つになったことから、この体験が少年の誇りとなり希望となり、少年の健全な育成に貢献することができた。 併せて応援に駆けつけた家族との絆も深まった。 ②震災後、ふるさとを離れて生活する被災者が、故郷の子ども達の演奏やシンポジウムの発表を聞いて勇気づけられ、さらに癒しの場となることができた。 中には、引きこもりがちな夫が震災後初めて「フォーラムに行こうかな」と自分から出かけて来たと言う人もいた。(参加者アンケートにより把握) ③高校生がスタッフとして、地域の人達と一緒に活動する事で、良好な人間関係が保たれ非行や犯罪に走らないようになる。 ④自分のことしか考えない人が存在する中で、シンポジウムの活動発表を聞いて、自分たちにも何か人のためになることがあるのではという意識が高まった。	
今後の課題 アンケート内容にもあったように、来場したみなさんが震災の後の情報や被災地の声、活動している人達の様子がわかり良かった。感動した。との感想がきけましたが、折角の催しに入場者が少なく残念との声があったので、多くの人の参加を呼びかける工夫が今後の課題となった。	

